

# 令和6年度 さいたま市食物アレルギー講演会

最新  
知識

## 子どもの 食べて治す! 食物アレルギー



食物アレルギーに対する考え方は大きく変化しており、以前に指導されていた妊娠中や授乳中に卵や牛乳を食べない、離乳食を遅らせた方が良いという説は、すでに根拠がないと否定されています。では、どういうことに注意したらアレルギーにならないのか？スキンケアによる経皮感作の予防、食物負荷試験や経口免疫療法といった最新のアレルギー診療、厚生労働省、文部科学省のガイドラインに基づいた給食など集団生活における対応を解説します。

アナフィラキシー

食物経口負荷試験

エピペン

講師

さいたま市民医療センター

小児科 副院長 西本 創 先生

埼玉県やさいたま市の教育委員会、子ども未来局のアレルギー対応マニュアルを監修し、行政と医療機関が連携して、アレルギー疾患に悩む子ども達が不利益なく安全に過ごすことができるよう活動されている。

医師向けの食物アレルギー診療ガイドラインの作成に携わられている。

日時

12月1日 日

14:30~16:30 (開場14:00~)

場所

RaiBoC Hall 小ホール

(市民会館おおみや)

申込方法

下記URLもしくは右のQRコードから市のHPにてお申込みいただけます。(申し込み開始9月10日) お子様連れの場合は申込フォームよりお知らせください。

URL: <https://www.city.saitama.lg.jp/002/001/013/002/p098686.html>

参加費無料

どなたでも  
参加いただけます

定員300名  
(先着)

講演後に  
個別相談

実施予定

※参加人数に  
限りがあります



お問合せ

さいたま市子ども未来局子育て未来部 保育課

TEL 048-829-1867

FAX 048-829-2516